

「成長期のお子様」や「不足しがちな栄養素」を手軽に摂取したい方へ！

「カルシウム」と「鉄分」が手軽に摂れる！「MBP®カルパワー」シリーズ！

5 MBP®
カルパワー



カルパワー

MBP® 40mg含有
カルシウム 680mg含有
鉄分 6.8mg含有

180ml 種類別名称: 乳飲料
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分
栄養機能食品(鉄・葉酸)



6 MBP®
カルパワー ヨーグルト

MBP® 40mg含有
カルシウム 350mg含有
鉄分 3.8mg含有

80g 種類別: 発酵乳
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分
詳しく述べ

「目の調子」「一時的な精神的ストレスや疲労感」「血圧」が気になる方へ！

7 アンド キャバ
ルテイン&GABA
3つのチカラ



詳しく述べ
QRコード

機能性表示食品(届出番号 E846)

100ml 種類別名称: 乳飲料
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分、りんご

8 アンド キャバ
ルテイン&GABA PET



血圧が
高めの方に
適した機能
GABA

詳しく述べ
QRコード

機能性表示食品(届出番号 J989)

100ml 名称: 清涼飲料水
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分

「ひざ関節に違和感」を感じている方へ！

移動時におけるひざ関節の違和感の軽減をサポートする

9 グルコサミンパワー



機能性表示食品(届出番号 G258)
N-アセチルグルコサミン 1,000mg 含有
100ml 種類別名称: 乳飲料
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分、えび、かに

10 グルコサミンパワー
せんいプラス



機能性表示食品(届出番号 G259)
N-アセチルグルコサミン 1,000mg 含有
食物繊維 5.6g 配合
カロリー50% 以上オフ!
砂糖不使用
100ml 名称: 清涼飲料水
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分、えび、かに
※1 当社「グルコサミンパワー」比

ふと、「自分の記憶力
(手がかりをもとに思い出す力)」が気になった方へ！

11 アンド キャバ
βラクトリン
宅配専用



詳しく述べ
QRコード

100ml 種類別名称: 乳飲料
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分

届出表示: 本品にはβラクトリンが含まれます。βラクトリンには加齢に伴って低下する記憶力(手がかりをもとに思い出す力)を維持することが報告されています。

機能性関与成分: βラクトリン
本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。また、特定保健用食品ではありません。

本商品は KIRIN の特許 No.6022738 号の許諾を得て製造されています。

子供から大人まで家族みんなにおいしい、
毎日の食卓に寄り添うミルクです。

13 雪印メグミルク
おいしい牛乳



生乳
100%使用

成分
無調整

100ml 種類別名称: 牛乳
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分

※2 低温でやさしく酸素を除去してから殺菌することで、
熱の影響を抑えて生乳本来の味わいを実現します。

17 雪印 いちご



ミルクいちごの風味がけ合うおいしさ。
お風呂あがりに飲みたい一本。

180ml 種類別名称: 乳飲料
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分

雪印メグミルク独自の素材

MBP®

「MBP®」は、牛乳にごく微量に
含まれる希少なたんぱく質です。

ガゼリ
SP株

日本人のおなかから発見された
ヒト由来の乳酸菌です。

14 恵 おなかに直行便
ヨーグルト



「ビフィズス菌SP株」を
カプセルで守ってしっかり腸へ。
70g 種類別: 充満乳
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分、ゼラチン、
大豆

18 特濃
乳脂肪分4.3% | ビタミンD配合



ケセになる濃厚なおいしさ。
180ml 種類別名称: 乳飲料
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分

15 雪印 コーヒー



コーヒーの風味とミルクが絶妙にマッチ。
変わらぬおいしさ。
180ml 種類別名称: 乳飲料
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分

16 雪印 フルーツ



幅広い方に人気のロングセラーです。
昔ながらの味わい。
180ml 種類別名称: 乳飲料
アレルゲン(推奨表示含む): 乳成分、りんご

19 壮快黒酢



国産純玄米黒酢(8ml) 使用
栄養機能食品(ビタミンE)^③
125ml 名称: 10% りんご果汁入り飲料
アレルゲン(推奨表示含む): りんご
はちみつを原料に使用しておりますので、
成末湯の乳には見えないでください。

20 まいにち続ける
飲む大豆



栄養機能食品(ビタミンE)^③
ノンコレステロール
200ml 名称: 大豆飲料
アレルゲン(推奨表示含む): 大豆

※3 本品は、多量摂取により疾病が治癒したり、より健康が増進したりするもの
ではありません。日々の摂取目安量を守ってください。食生活は、主食、主菜、副菜
を基本に、食事のバランスを。